



施食会YOUTUBE動画

住職コラム

幼稚園

16

上

の子が早いものでこの三月に幼稚園を卒業します。もう小学生かと思いきや、ふと自分の幼稚園時代はどうだったかと回想したことがあります。当時の私は少し控えめな子供で、友達は近所の三菱の社宅に住んでいたソウイチロウくんただ一人。しかし、私は幼稚園内で唯一紙飛行機が折れる子で、当時眩しく見えていたワンパク小僧たちから「折って折って！」とせがまれることがよくありました。私が折った紙飛行機が園庭を十数も飛んでいるその光景に、誇らしさをもってジャンブルジムの上から眺めてい

ました。ある時、降園の時間になっても、母親の迎えが待てども来ない日がありました。心は次第に焦り、先生に「今日は迎えに行けないと言われていました」と嘘をつき、一人トボトボと帰りました。母親は迎えをすっかり忘れていて、祖母と一緒に家でおせんべいを食べていて、私はありったけにわめきました。家では控えめな子供ではなかったのです。思いを巡らしながら、意外と幼稚園の記憶が残っているものだなと感じ、自分の子供にも色々な思い出を残してあげたいと思った回想後でありました。



令和4年 を 振り返る



まだまだ新型コロナウイルスの影響
大きな一年でしたが、対策を立てな
がらお寺の行事を行ってきた令和
四年を振り返ります。

1月
お正月・初詣

お正月は御守やおみく
じを置いて、新年のお
参りや初詣の方々をお
迎えました。コーヒ
ーなどの温かな飲み物
の接待も行いました。

1月-5月
役員会開催

年二回の檀信徒総代と
の役員会を開催。収支
報告や施食会の運営等
を話し合っています。



3・9月
春と秋のお彼岸

春・秋のお彼岸にはお
墓参りの方が大勢みえ
ました。墓地は沢山の
お花で彩られ、故人様
がにっこり微笑んでい
られる姿が目につかび
ます。



4月
花まつり

お釈迦様の誕生日を祝
つて花まつりを開催し
ました。今回から子供
たちにお寺や仏教に親
しんでもらおうと大き
く展開。木魚体験や紙
芝居などを行い、冷た
い雨降る中、約一五〇
名もの来山を頂きました。



7月
施食会・棚経

お盆の合同供養祭「施
食会」は僧侶の数を減
らし、本堂への入場制
限を行いつつも、よう
やく参列者を募って執
り行うことが出来まし
た。尚、インターネット
中継も継続して行いま
した。
ご自宅に伺い、お盆の
供養をする「棚経」も新
盆対象者を中心に行い
ました。



インターネット中継 /

9月
先代十三回忌

先代、西山道彦老師の
十三回忌を命日九月四
日に行いました。大勢
の僧侶をお招きし、大
きなお供養を施して頂
きました。改めて、先代
のご遺徳を預かりなが
ら歩めている事に気づ
かせて頂いた一日であ
りました。



10月
YOU
テレビ取材

ケーブルテレビのYOU
テレビ」とっておき@神
奈川区」にお寺の日常
について取材を頂きま
した。



客殿2階リニューアル

客殿の二階をリフォーム
しました。順次、法事
の控室などご利用頂
けます。



5月
朝のおつとめ体験

ゴールデンウィークに
は「朝のおつとめ体験」
を行いました。毎朝七
時より約五〇分を五日
間。坐禅・読経・法話の
体験後には、境内で皆
でお話しながらのコー
ヒータイムです。



6月
本堂掃除の会

本堂内の仏具や畳な
どをキレイにする「本
堂掃除の会」を行い、檀
家さんや近所の方、檀
禅会の方々など約二五
名のご奉仕を頂きました。
休憩時にはかき氷
を振る舞いました。



7月
初めてのお盆講座

初めてお盆を迎える方
にお盆の過ごし方の作
法などをお伝えする
「初めてのお盆講座」を
開催し、約二十名のご
参加を頂きました。



坐禅前のストレッチ
月に一度、日曜日の坐禅会



感染対策を施し、月に一度の坐禅会継続中です。
どなたでもご参加出来ますので、
開催日はWEBまたはチラシ等をご覧頂き、
お申し込みください。

ぜひ
ご参加下さい

お寺の貸し出し

ヨガの先生に本堂をお
貸しし、「お寺ヨガ」が開
催中です。毎月一回、10
時半からの1時間。どな
たでもご参加可能です。
ご予約はWEBより。



一般社団法人落語協会
様に本堂をお貸しし、地
域向けの落語会が二度
開催されました。今年も
開催予定ですので、詳細
はWEBをご覧ください。



お位牌のまとめ方



第9回

仏事を 知る

その後、お寺に一報頂き、法要日時の手配をします（出張も可能）。法要では古いお位牌の魂抜きをし、先祖代々のお位牌等に魂を移し替える儀式を営みます。古いお位牌はお寺で預かり、後日お焚き上げを致します。

位牌をまとめる際の注意点

まず一つ目の注意点は、三十三回忌を過ぎていない故人様は基本的に先祖代々の位牌へは移せません。人が亡くなるとすぐに先祖になると考えがちですが、供養の考えでは三十三回忌を過ぎないと、先祖の仲間入りはしないと考えます。

故人様は先祖になることでその家の方々を守ってくれる存在になりますが、それ以前は逆にその家の方々が供養をして守ってあげなくてはなりません。それ故、三十三回忌を迎える前の位牌は各々に用意して供養をする習わしで、先祖代々に移すことは時期尚早なのです。

しかし、どうしても事情があつてまとめたという場合



● 夫婦位牌



● 繰り出し位牌

位牌をまとめるとは？

位牌が多くて仏壇に入らない、お位牌を継ぐ方がいないなど、さまざまなご相談をお受けします。それならいつそのこと位牌を処分しようと考えの方もいらっしゃると思いますが、その考えはおすすめ出来ません。位牌は、本来永劫にその家にまつるものです。処分するのではなく、ここではまとめることで供養を続ける方法をお伝えします。

さて、この「お位牌をまとめる」というのは、各々にあるお位牌の魂を「〇〇家先祖代々」の位牌等に移し一つにまとめるということです。魂を抜いたお位牌は、先祖代々の位牌に移した後にお焚き上げをします。この手順と注意点を今回はお伝えします。

位牌のまとめ方

まず、ご逝去年を確かめ、三十三回忌を過ぎていないかを確認します。三十三回忌を過ぎていないお位牌は「先祖代々」にはまとめることは出来ません（※理由とその場合のまとめ方は後に説明します）。そして、ご自宅に「先祖代々の位牌」があるかを確認します。もし無ければ仏具屋さんで購入をしましょう。小さいものなら二、三万円程です。



● 先祖代々の位牌

は、先祖代々の位牌ではなく、「夫婦位牌」という夫婦が一つに入ることの出来る位牌か、「繰り出し位牌」という板状の位牌を沢山入れることのできる位牌を準備するか、やはり三十三回忌を過ぎていない故人様は銘々の位牌のままにしておきます。

一つ目の注意点は、先祖代々にまとめるごとなが先祖の位牌にいらつしやるかが次世代以降の方には分からなくなります。それ故、「過去帳」に記帳することをお勧めします。お持ちで無い方はこれも仏具屋さんで購入しましょう（三万円程度）。これには自身で記入して頂きます。

こうして、多くの位牌を一つにまとめたならば、仏壇に再び安置し、供養をしていきます。

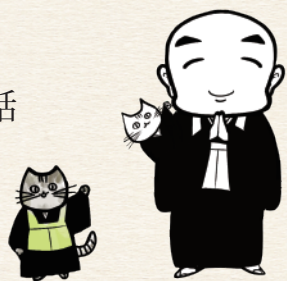


● 過去帳

位牌を受け継ぐ人がいない場合は

また、もし位牌をどうしても継ぐ方がいらつしやるなければ、上記のようにまとめた後にお寺に位牌を預けることをお勧め致します。もし難しい場合は、丁寧なご供養の後、お焚き上げをするという方法もあります。どちらも一度ご相談下さい。

仏の教えや禅語は悟りの境涯を伝えているもの。
しかし、深遠な仏の道求めなくとも、その言葉を自らの生活に引き寄せることで、大切なものに気付かされたり、豊かな人生を過ごすヒントにもつながります。



連載 仏教の話 第13話

道德の基礎となった仏教の戒、いわば10のルールをお伝えします。

「十重禁戒」

- 一、自分も他の生命も大切に
- 二、他人の物を盗まない
- 三、道ならざる愛欲や浮気をしない
- 四、嘘をつかない
- 五、酒に飲まれない
- 六、他人の過ちを言いふらさない
- 七、自慢をしたり、他人を非難しない
- 八、物も心も人に施す事を惜しまない
- 九、怒りに我を失わない
- 十、仏・仏の教え・仏に集う仲間

仏教の10のルール

道德という言葉がありますが、全体的に何となく使われている雰囲気があります。この道德とは、端的に言えば私たちがやって良いことと悪いことを判断するものさし・人が守るべきルールの事を言います。

日本の学校ではこの善悪の価値観を育むために道德という授業があります。時間設けるのは学校の自主性に任されるため、ある時より時間割に道德という時間が組み込まれることが減っていったと言われています。

をけなさない

ともすると、どれも当たり前のように聞こえてふーんと思う程度かもしれませんが、この当たり前のことを守れている人は実はあまり多くはありません。改めて自分の数カ月の行為に巡らしてみれば二つ三つギクリとすることもあるのではないのでしょうか。ニュースや新聞を見れば、人を殺め、人の物を盗む出来事に溢れ、街に出れば酒に溺れ、人を非難する事に快感を感じる人を散見し、家庭にあれば怒りのままに家族を怒鳴る。そして私たちは時に嘘をつき、お金や心も惜しみながら生きてしまいます。

それが人間だからなのかもしれ

成績に直結するものでもなく、また道德は本来家庭を通して身に着けるもので、本来学校で教えるものではないという考えが一つの理由だったようです。

しかしながら、後を絶たないじめ問題などから、小学校では五年前より、中学校では四年前から「特別の教科（数値で評価しない科目）」として正式に授業に組み込むようスタートしたということです。

さて、宗教には、信仰者が守るべき道德的規範いわば基本となるルールがありますが、仏教ではこれを戒かえと言います。日本では古来よりの仏教国ということもあり、この戒が色濃く私たちの道德観に結びついています。そんな日本の

ません、野放しにしておけば人間は何をするか分かりません。だからこそ人が守るべきルール・道德が必要で、仏教ではこの基本となる10の戒が作られたのでしよう。

小中学校では道德の授業が正式に始まっていますが、家庭内の教師たる親がきちんとした道德を身に着けていなければいけません。小さなお子様やお孫様がいらっしゃる家庭では、ぜひこの十重禁戒を胸にお暮し頂き、また既に子供が巣立っている方は、穏やかな生活のためと人格向上にそして仏教の信仰のためにぜひご参考下さい。